

地域連携推進センター

Center for Regional Collaboration

これまでのセンターは地域との連携関係の構築を目指して「手段」として「地域連携」をセンター名称として標榜

十数年にわたる「地域連携」の蓄積により、「手段」を標榜するステージは終えた



新たなセンターが目指すべきは、将来の地域の在り方の具体化

次世代地域創造センター

(Center for Regional Sustainability and Innovation : CeRSI)

【センタービジョン】

私たちは、地域が多様な価値観や考え方、行動、想いを認め合い、新たな挑戦が続けられる社会の実現を目指します。

【センターミッション】

そのために高知大学次世代地域創造センターは、

- ・高知に関わるすべての人々が集い、繋がり、協働することで、信頼と絆による地域の未来を創造するプラットフォームを作ります。
- ・地域と共に高度な地域志向教育研究を実践することで、次世代の地域の創造に貢献していきます。
- ・これらの活動を通じて、高知大学はスーパー・リージョナル・ユニバーシティとなります。

次世代地域創造センターの系譜

(2009～) 高知県産業振興計画

(2015～) 地方創生総合戦略

人材輩出、研究成果の地域社会展開、専門家派遣 等

教育・研究を生かした
地域課題解決の拠点の形成

(2013～)
文部科学省
地(知)の拠点

- ・地域科目の倍増、必修化
- ・地域研究の増加、拡大
- ・高知県地域本部との連携強化

(2015～)
文部科学省
地(知)の拠点

- ・地方創生推進士の育成
- ・人材育成を通じた雇用の創出
- ・県内高等教育機関との連携強化

地域再生人材
創出拠点の形成

(2008～) 土佐FBC

- ・食品産業の中核人材育成

(2013～) 土佐FBC II

- ・食品産業の基礎から専門の中核人材育成

(2018～) 土佐FBC III

- ・競争優位性をもたらす食品産業の研究開発人材育成

2005

2013

2018

地域共同研究センター
生涯学習教育研究センター
知的財産本部
留学生センター
国際交流部門

国際・地域連携センター

- ・高知大学のOne stop window機能の強化
- ・事務職員とのUnder one roofによる協働

地域連携推進センター

- ・地域連携への集中
- ・COC事業(KICS)の中核
- ・UBCの地域展開

次世代地域創造センター

- ・COC、COC+事業の継続発展
- ・高知県内の地方創生の加速
- ・UICを中心とした大学発イノベーションの創出
- ・スーパーリージョナルユニバーシティの実現

国立大学
中期目標

2004

第1期

2010

第2期

2016

第3期

2022

新たな法人制度の「始動期」

法人化の長所を生かした改革を本格化

持続的な“競争力”を持ち、高い付加価値を生み出す国立大学へ

地方創生

何を
目指す
べきか？

多様な価値観 人間関係

愛着と誇り

県民にとっての
高知大学とは？

伝統と変革

失敗を恐れない

次世代のために

希望
尊重

新たな挑戦の継続

多様性 イノベーション

我々は何をすべきか？

高知大学

専門
実践

ワクワクできる

高知のため

都市部大学と
立ち位置が違う

地域志向
人材育成
教育研究

どこまでやる？

プラットフォーム

主導型？伴走型？下請型？

次世代地域創造センタービジョン・ミッションに基づく活動と組織構成

ビジョン

私たちは、地域が多様な価値観や考え方、行動、想いを認め合い、新たな挑戦が続けられる社会の実現を目指します。

ミッション

高知に関わるすべての人々が集い、繋がり、協働することで、信頼と絆による地域の未来を創造するプラットフォームを作ります。

地域と共に高度な地域志向教育研究を実践することで、次世代地域創造に貢献していきます。

目標

地域社会の中核となる人材育成

高知大学の関係人口100%

地域課題解決の実現

教員の当事者意識の醸成

全国最先端の地域連携研究の実践と全国認知

高知大学の特色ある地域研究成果を全国の課題解決に活用

行動計画

赤字は次世代地域創造センターの新規項目
青線で囲った項目は次世代地域創造センターの重点項目

- 地域の諸問題の解決に資する人材育成プログラムの構築と実行
- 自治体連携コーディネーターの出向受入れを通じた職員研修
- 地方創生推進士の認定と県内輩出
- あらゆる広報媒体を通じた公開講座、セミナー、共同研究の成果や育成した中核人材の地域波及
- 自治体連携コーディネーターや地方創生推進士、地域協働教育を受けた各学部卒業生が次世代UBCとして、本学と地域との関係性構築を促進
- 地方創生イノベーションサイクルの創出による課題解決の実現とサイクルの点検評価
- ココプラを通じた県や県内高等教育研究機関等との連携体制による産業振興や地域振興の加速
- 県や省庁の中間支援機能を活用した地域運営組織づくり支援
- 若手教員との接点作りを通じた研究者情報の収集と地域情報の提供
- 組織的地域志向プロジェクトの構築と集中的支援
- 教員が自らの教育・研究を地域展開する際の支援体制
- 全国の機関との研究交流
- 地域連携事例の分析や考察に基づく地域課題解決に資する地域連携のモデル化
- 優れた研究成果を保護、管理し、全国の企業や自治体、研究機関等に情報発信
- 利益の最大化を目指した研究成果の活用

教員組織	事務組織			
	地域連携課			
	進系	知的財産係	域学連携推進係	地方創生推進係
地域サステナビリティ部門	○	◎	◎	
			◎	
				◎
	○	○	◎	◎
	○	○	○	◎
	○			◎
地域イノベーション部門	◎	◎	○	
	◎			
	○	○	○	
	◎	○		○
	○	◎		

次世代地域創造センター 組織体制図

櫻井学長

奥田理事(教育・国際)

辻田理事(総務・評価・地域・広報)・本家理事(研究・医療)

竹田理事(財務・労務・施設整備)、宮井理事(ワークライフバランス)

次世代地域創造センター

センター長(受田教授・兼任)

岡豊分室長(溝淵教授・兼任)

副センター長(石塚准教授・専任)

物部分室長(藤原教授・兼任)

<地域サステナビリティ 部門>

地域社会の中核となる人材育成や生涯学習、課題解決に資する連携プロジェクト等を通じて、高知に関わるすべての人々が集い、繋がり、協働し、信頼と絆による地域の未来を創造するプラットフォームを構築する。これらにより、持続可能な地域社会の実現に寄与する。

吉用准教授
赤池UBC 梶UBC
川澤COC+CD
川竹COC+CD

<地域イノベーション 部門>

地域に根ざした研究を積極的に推進するとともに、教育及び研究の成果を自らの責任のもとに保護、管理し、活用を図ることにより地域イノベーションの創出、技術開発及び産業の活性化を目指し、次世代の地域の創造に貢献する。

石塚准教授
下方講師
大崎UBC 岡村UBC
UIC

<土佐FBCⅢ企画運営室(社会人養成担当)>

高知県内企業の研究開発力が脆弱であるとの課題に対し、企業のイノベーション創出と持続可能なビジネスを展開していくため、食品関連企業の研究・開発分野を強化し、企業に競争優位性をもたらす研究開発人材を育成する。

富特任教授
松田特任講師
栗田特任助教

<○○○○○○部門>

高知大学の組織的地域志向プロジェクトを効果的に実施し、その成果を地域創造に役立てるため、プロジェクト担当教員を部門長(兼任)とし、スーパー・リージョナル・ユニバーシティとしての柱の事業とする。

プロジェクト
に応じて
体制構築

必要に応じてセンター内に特定機能を具備した「チーム」を編成する。チームはセンター外の教職員も参画可能とする。チーム編成は「次世代地域創造企画会議」での議論を経て、「センター運営戦略室会議」にて審議の上、決定する。

新たな価値
規範の創出に
よる次世代地
域創造に係る
連携

希望創発センター
「希望創発教育
研究モデル」の
実践

学術志向型
学習

希望創発
プラット
フォーム

社会志向型
学習

未来を担う若者の
「事実を見る目」を養
い、自ら何が課題な
のかを考え、周りを巻
き込んで課題解決に
取り組むことで、新し
い“当たり前”を創り出
すことに挑戦できる
次世代の人材を育成
することを目的とする。

学内における新たな
学びの場の創出

次世代地域創造に繋がる学部、学系との更なる連携の創出

- ・組織的地域志向プロジェクトの構築支援
- ・特色ある地域研究成果を全国の課題解決に活用
- ・地方創生推進士の認定と県内輩出 等

人文社会科学部、教育学部、理工学部、医学部、農林海洋科学部、地域協働学部、大学院総合人間自然科学研究科

人文社会科学系、自然科学系、医療学系、総合科学系

高知大学 次世代地域創造センター 概要

地域が主役！



地域と大学との往還を通じた持続的な地域課題解決の実現を「**地方創生イノベーションサイクル**」とする。高知大学がそのプラットフォームとなり、次世代地域創造センターが推進エンジンとなる。

